

地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 後期 第2回)のご案内

あほなことせえ —旧教養部の哲学—

酒井 敏

京都大学人間・環境学研究科 相関環境学専攻

今から30年以上前、私が京都大学に入学した当時、教授陣から「あほなことせえ」とよく言われた。「真面目に勉強せえ」と言われた記憶がない。今にして思えば、これは人々をあっと言わせる研究の極意であったと思う。旧教養部のカリキュラムは、このような哲学の上に成り立っていて、世間が抱く京都大学全体のイメージの底流をなすものである。今や絶滅寸前の哲学であるが、京都大学がこれを捨てることは、単なる一地方大学へ転落することを意味する。講演では今、京都大学が取るべき道について議論したい。

10月17日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室